

# 学校応援団だより

## ～松本小学校（松小）応援団～

「江戸川区学校応援団」は「子どもたちのために役立ちたい」という思いをもっている保護者や地域の方々が、学校の希望することを応援するしくみです。

地域・保護者・家庭が連携し、学校を取り囲む地域全体で子どもを見守り、育てていこうとする活動が「学校応援団」です。

【団長】 小宮 昌弘      【副団長】 岸野 正義      二村 寿三（コーディネーター）      青柳 真紀子



### 松小応援団「活動のモットー」

- ① 子どものためにしよう。
- ② できることから始めよう。
- ③ 続けていこう。

子どもも大人も  
気持ちのいいかわりに  
しよう。

松小の保護者としてPTA活動に参加する中で、小学校の子どもたちの成長には保護者、そして地域の力が重要であると強く感じました。それは、子どもたちが私たちの宝であり、未来を担う存在であるという認識からです。子どもたちには家庭があり、それぞれの生活の中で規範意識や人間性を高め、子どもと親が共に成長していきます。また、学校では勉強や遊び、友達とのかかわりの中で社会性を身につけます。家庭や学校の先生などももちろんですが、地域ぐるみで子育てをしていければ、もっと子どもは成長します。

PTAでの活動で得た人脈を生かしながら、保護者ではない立場の人の協力（地域力）で、安心・安全を作り上げていきたいと思えます。活動は負担に思うのではなく、「できることから始めよう」「できる時に動こう」と、小さな一歩から共に活動できればと思えます。

松小応援団 副団長（コーディネーター）二村 寿三

「松小応援団 活動のモットー」の言葉の通り、本校の学校応援団の皆様はお一人お一人が「子どものためにしよう」ということを第一に考え、積極的に動いてくださっています。朝の挨拶運動、安全・安心の見守り、月に一度の読み聞かせ活動、たくさんの校庭樹木や学校農園の管理…。それぞれの活動は「できる人が、できる時に」という姿勢で進められています。また、応援団の皆様方と子どもたちとの自然なかかわり合いも、本校の大きな特徴だと思います。

本校は今年度、開校40周年の節目の年を迎えます。これからも「学校応援団」の活動に元気をいただきながら、教育活動をますます充実して参ります。

松本小学校 校長 桑野 貴文

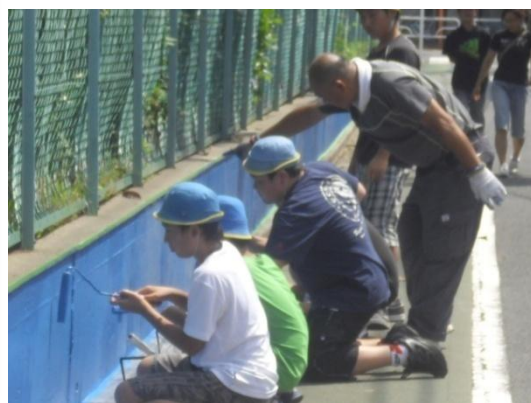
## 活動の紹介

- 本の読み聞かせ活動（心のごはん）
- 実のなる木活動（みどりの園）
- 樹木の管理（グリーンボランティア）
- 安全・安心の見守り、挨拶運動

このような通常の活動に加えて、開校40周年の今年度は、「子どもたちが楽しくなること」をさまざまに考え、行っています。



夏休みに学校の外壁を子どもたちと一緒にきれいな校帽の色に塗りました。



毎月1回の「心のごはん」は、子どもたちの目が輝きます。

松本小伝統の梨の花の受粉作業です。おいしい実がなるように、真剣な表情で作業する4年生を手伝いました。



防災用の井戸も子どもたちと一緒に掘りました。



花桃の木を植えました。これから毎年春には、子どもたちの喜ぶ顔を見られます。